

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和4年10月号）

令和4年10月1日

彼岸が過ぎ、言い伝え通り秋らしくなりました。皆様ご清祥のことと拝察いたします。
次の活動日をお知らせいたしますので、どうぞお越してください。

10月16日（日）

09:00～10:30 高知駅南口電停脇「みんなの庭」の手入れをいたしましょう。

< 11月の共同作業は13日（日）の予定です。 >

9月のトピックス：

○ 9月11日（日）、**駅前の共同作業日**です。暑さがやわらぐ曇り空に恵まれ、ボランティア7人の協力で「みんなの庭」がすっかりキレイになりました。皆さんのバイタリティに感心させられます。（右の写真。下に花の写真）

○ 9月10日（土）、**前川種苗さん**を訪ね、**牧野富太郎博士**ゆかりの仙台屋桜とスエコ笹の入手方法につきお伺いしました。両方とも同社を介して確保可能で、時期は来年2～3月ごろが都合がよいのではということでした。

○ 9月12日（月）、**高知市役所**を訪問しました。**みどり課**には、来年春スタートのNHK連続テレビ小説で**牧野博士**が取り上げられる機会に、高知駅前（南口のヤシの木枯死の跡地）に、博士ゆかりの桜と笹を、市内小・中・高生徒たちの手で植えてもらおうという構想を、文書で提出しました。**高知市長室**にも寄り、企画のあらましを説明しました。



彼岸花



季節外れのスイカ

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥

幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ： <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店 「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

自然のままー鳥取砂丘そぞろ歩き

鳥取砂丘風強し。砂丘を一步一步登っていくとズルッ、ズルッと靴がずれる、踏み込んで歩く。砂は赤茶色、手にとってみると粉・パウダーだ。高知市桂浜の砂と全く違う。砂の大きさも、色も違う。

バスの運転手さんが、砂丘は海が見えるところまで登った方が良いと教えてくれた。登ってきてそのことがわかった。視界が左右に大きく広がり白波が幾重にも打ち寄せてくる。大海原より吹きあがってくる潮風、思わず帽子を深くかぶり直す。素晴らしい、すごい景色だ、いつまでもいたい気分での時の経つのを忘れる。



右上の写真は、バス停から砂丘に登ってきて一旦噴火口のような大きな谷の方に歩き、そこからさらに上に登ってきた丘陵からの眺めである。(令和4年9月2日 17:00 筆者撮影)

何が良いか、ここは自然のまま、人工物がひとつもないことが良いのだと気づく。歩きにくいのがさらに良い。太古の昔からの大地を踏みしめている。それがまた良いと感動。自然を満喫した。波打ち際まで降りて行こうかと思ったが日暮れが近い。ここまで登ってきて帰ることとなる。闇夜になればこれまた大変、灯りが無い。砂漠の中で帰るすべもなくなる。

戻ってきていると指一本が入るくらいの穴がいくつもある、深さは10センチくらいか。指を入れてみようかと思ったがなにかがいるようだ、虫などに噛みつかれたらいかんと思い、スマホをかざすと「スナガニ」と出た(右の写真)。生き物が生息しているのだと知る。



スナガニ

もう一つ気が付いた。「ゴミ」がない、ごみ入れ籠も休憩所もない。人が作った人工物、展望台もなく、海にテトラポットもない。本物の大自然を満喫、帰るのが惜しい気持ちで去る。

高知の桂浜にはコンクリートの歩道、それに最近ではコンクリートの展望台まで造っている。桂浜の岬の上にそびえ立つコンクリートの建物を観た人が「幻滅」と一言。そうだろう。

親切心でコンクリートの道路、展望台、ホテルなど造って良いのか? いや、自然を感じたい。歩きにくくともそれを体感して喜ぶ。龍馬さんも歩き、大町桂月先生も月の桂浜と愛でた。ところで、浜を彩っていた五色石はどこへ行ってしまったのだろう。

鳥取砂丘は、パウダーの砂と潮風、白波だけ。土地の人に聴いてみると、ゴミは住民がボランティアで清掃しているという。そういえば、世界遺産・明治神宮への表参道もゴミがなく、タバコの吸い殻もなく、樺が大きく茂って木陰をなし、樺より高い建物は建っていない。自然を愛し大切に思う住民の心が風景に現れている。

NHK朝ドラ「らんまん」にちなんだ観光博覧会「牧野博士の新休日」が来春始まる予定。木を植え、森をつくり、景観を良くして人々をお迎えしたいものである。

徒然(つれづれ)なるままに、酔って候・・・龍将 記